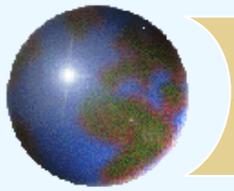


コロナ禍による大学図書館員 の専門性への影響

～「来館できない」を
チャンスに変えるために～

中央大学（職員） 梅澤 貴典

日本図書館情報学会 臨時シンポジウム
「大学図書館員の専門性とは」



コロナ対策として無料公開した資料と動画

☆ 「在宅で学ぶ**大学生と教職員**のための情報収集法
& 大学図書館リモート活用法」 (資料)

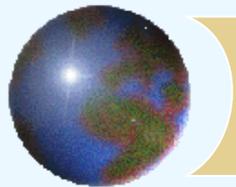
https://researchmap.jp/multidatabases/multidatabase_contents/detail/254337/6453c4d89da11fffb710040b13e3bda6?frame_id=474161

【Youtube動画 (60分間)】 <https://youtu.be/Sc8ttQ3xFzQ>

☆ 「在宅で学ぶ**高校生**のための探究的学習法 & 図書館リ
モート活用法」 (資料)

https://researchmap.jp/multidatabases/multidatabase_contents/detail/254337/33c3a38b5cba31d6fe6a295cb463a1a8?frame_id=474161

【Youtube動画 (90分間)】 <https://youtu.be/UJwG27ji4VQ>



資料・動画公開の経緯のタイミング

2020年 3月 2日 小中高 臨時休校要請

4月 7日 緊急事態宣言（東京など7都府県）

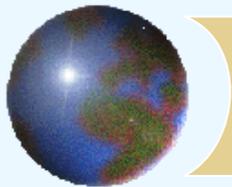
4月16日 緊急事態宣言 全国に拡大

4月19日 大学生向け資料公開

4月27日 大学生向けYoutube動画公開

5月13日 高校生向け資料・Youtube動画公開

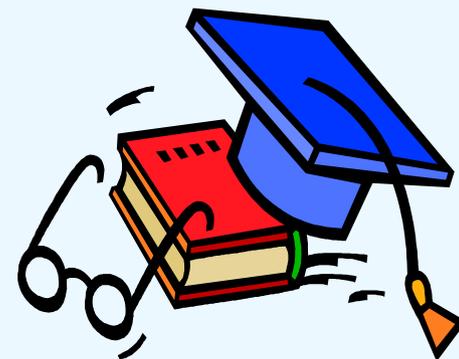
5月14～25日 段階的に、緊急事態宣言解除



在宅で学ぶ大学生と 教職員のための情報収集法 & 大学図書館リモート活用法

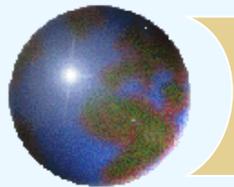
梅澤 貴典

umetaka@gmail.com



著者名・タイトル・本サイトURLを表示し、かつ非営利目的
であれば、内容の改変や教材等としての配布ができます。

Ver.1.1



「インターネットで何でも分かる」時代に、
なぜ大学図書館を使って学ぶのか？

日常のほとんどの問題は、
ネットで解決できてます！



マナブ君



司書さん

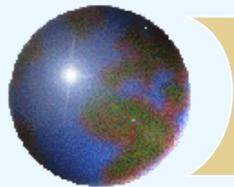
たとえば、就職活動のような「人生の一大事」
でも、ネット情報で**判断**して、**行動**するかな？

問題

- ライバルと同じ情報源→「**その他大勢**」に埋没
- 玉石混交→知らぬ間に**ウソ**を信じ、広める危険

解決法

- 探究力（①出所が明確&②網羅的な情報収集を!）
- 独創性（知識を複合して**アイデア**を生む力）
- 発信力（言葉と文章+**a**で、人に伝える力）



大学生と教職員だけが持つ、大きな

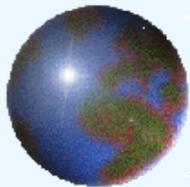
特権

自分の大学が契約している**新聞データベース**など、
一般には有料の情報が、スマホや自宅PCで**無料**で読める。
(明治時代の創刊号から現在までの新聞記事を、検索も可能！)

同じく、**世界最先端の学術雑誌 (電子版)**に載った論文・
電子書籍も、自分の大学が契約していれば**無料**で読める。
(かつては、図書館に行って印刷物を手にする必要があった…涙。)

(大学のキャンパスに通えるようになったら…)

街なかの書店や公共図書館には決して並んでいない、
膨大な数の本と、超マニアックな雑誌(✓)も利用可能。
(大学の専門により、「月刊住職」「養豚の友」「ねじの世界」などなど♪！)



最初に「なにペディア」で調べるか？で差がつく！

JapanKnowledge Personal

情報・知識 imidas 2017

分野一覧 > 経済・産業 > 情報通信産業 > ネットビジネスの動向 > ランサムウェア

ランサムウェア [情報通信産業]

ransomware

身代金要求型不正（身代金）とソフトウェア（ ransomware ）の脅威。スマートフォンやパソコンのデータを暗号化し、その復元と引き換えに金銭を要求する。近年知られてきたが、2016年頃から急速に被害の報告が増えた。なお金銭の要求に応じた場合でも必ずしも解除されるとは限らない。

[手嶋彩子]
[2017.03]

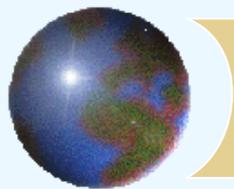
©Shueisha

- 紙の百科事典（エンサイクロペディア）は、**信頼性は高い**が、印刷後どんどん**情報が古びていく**。
- いっぽう**フリー百科事典**は**最新の情報**だが発信者が匿名のため、質が玉石混交で**信頼性が低い**。
- これに対し、例えば「**ジャパンナレッジ**」は百科事典と同じ**高い信頼性**に加え、**更新され続ける特性**を持つ。

「何となく」は知っている言葉でも、**レポート・論文**あるいは**業務での企画書**に書ける**レベル**で理解しているか？

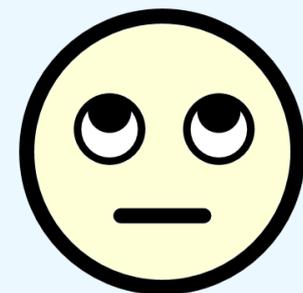
有料のデータベースだが、大学で契約していれば**無料**で利用可能。**個人入会**も可能（**有料**）。

この記事は、どの資料（事典）のものか？
（→オレンジ色のバーには「imidas」と記載あり。）
著者名をクリックすれば、どんな専門家が
この記事を書いたのか（プロフィール）も分かる。
その人に興味が湧いたら、著書（本）も読んでみよう！



大学が契約しているデータベースを探す！

(へ～！正直、何でも「〇〇〇ペディア」で調べてた…。)
確かに「ジャパンナレッジ」って良さげだけど、
うちの大学では使えるのかな？



→ 大学によります！

契約しているデータベースは
図書館のホームページで
一覧できる大学が多いです。

(中央大学の例)

図書館トップページ→
「資料をさがす」→
「データベースリスト」
をクリック！

資料をさがす

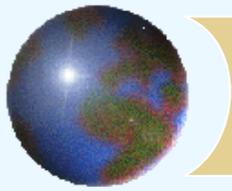
中央大学図書館の資料を検索することができます。
キーワード: 検索

蔵書検索 CHOIS [Catalogue]

データベースリスト Databases

e-journals e-books

電子リソース検索 e-resources



学術情報の流れ

START!

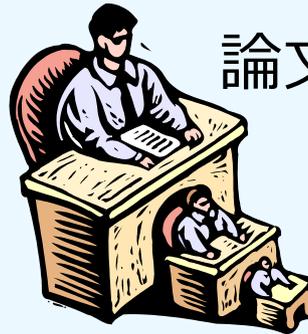
新しい
発見や
技術



新聞・ネット
のニュース



論文執筆



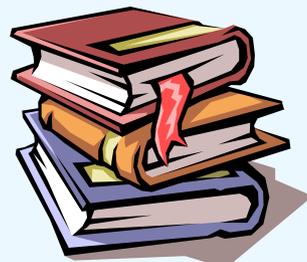
査読

大学で
学習・
研究



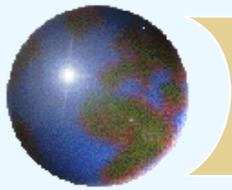
学術雑誌（冊子&電
子）に論文が載る

基礎・概論
が本になる



世界中で
情報共有





無料公開した資料（入門用の解説書）

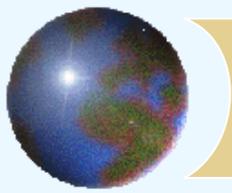
☆「ネット情報の海に溺れないための学び方入門」

<https://note.com/umezawatakanori/m/m193826be22b4>

1. 「ネットで何でも分かる」時代に、なぜ学ぶのか？
～これまでに自分が得てきた情報は信用できるか？～
2. ネット時代に、なぜ読書？なぜ図書館？
～自分だけの世界地図と、脳内四次元ポケットを持とう～
3. 「鬼に金棒」の図書館活用術
 - （その1） 学術情報の流れと成り立ち
 - （その2） 事典と辞書
 - （その3） 本
 - （その4） 専門雑誌とオープンアクセス
 - （その5） 統計と公的データベース
 - （その6） 地域・郷土資料とレファレンス
9. ネット&図書館の複合的活用術
10. 「学ぶ」知識から「使う」教養へ
（アウトプット）



（書籍化されました）



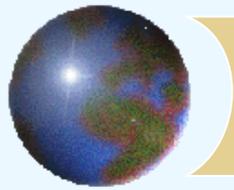
資料の作成と公開の狙い

1. 従来のガイダンスで「悔しかった点」の払拭

- ・「ネット時代に図書館なんて居るの？」という誤解
→就職活動を例に、情報収集の利点を「自分事」にさせる。
- ・「利用ルール」の説明で飽きられる&嫌がられる…。
→図書館という括りを離れ、**独学者&研究者**として捉える。

2. 在宅学修で「陥りがちな危険」からの保護

- ・ ネットを効率的に使いこなすことが、情報収集力？
 - ・ 「それらしくまとめて単位を取ること」が課題解決力？
- 「図書館が使えない状況」を逆手に、**大学生の特権**と活用の有利さ、**アウトプットの意義**を伝える。



今回の資料作成にあたっての基本ポリシー

1. 本学に限らず、「日本全国の大学生」を対象とする

- 大学ごとに異なる資料やDBの契約状況や規模によらず、「すべての独学者」のための手引きとなることを目指した。

- 「CC BY—NC」マークを付けて「出典を表示し、かつ非営利であれば、内容の改変や教材等としての配布もOK」とした。

→同志社大学神学部にご活用いただいた事例

同志社大学
神学部 / 神学研究科

資料請求

学部紹介 大学院紹介 教育・研究 受験をお考えの方へ 施設・設備利用

在宅での学びのために

ALL DOSHISHA 教育推進プログラム

国際連携

基督教研究

一神教学際研究センター

入試情報

一神教学際研究センター
C I S M O R

K-GURS
京都・宗教系大学院連合

神学部 YouTubeチャンネル

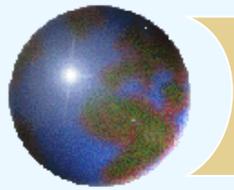
在宅で学ぶ大学生と教職員のための情報収集法&大学図書館リモート活用法 [PDF 6.6MB]
梅澤貴典さんによる解説動画

在宅での学びのために

同志社大学神学部 内容改変

在宅で学ぶ大学生と教職員のための情報収集法 & 大学図書館リモート活用法
梅澤貴典
umetaka@gmail.com

著作権者、タイトル、本サイトURLを表示し、かつ非営利目的であれば、内容改変や教材等としての配布が出来ます。 Ver.1.0

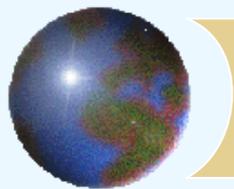


今回の資料作成にあたっての基本ポリシー

2. 無料でも「信頼できる情報」ならば、広く取り扱う

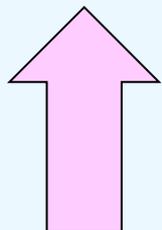
- ・従来のガイダンスは「購入（契約）した情報・資料」が中心
- ・教え子（留学生）の訴え：「帰国後はどうすればいい？」
- ・オープンアクセスの普及や、卒業後も**独学者として学び続けること**を見据え「公的・無料」を中心にデータベースを選んだ。

【例】「Webcat Plus」「CiNii」「カーリル」「Google Scholar」
「Worldcat」「国立国会図書館サーチ」「レファレンス協同データベース」
「e-Gov（法令検索）」「e-stat（政府統計）」「リサーチ・ナビ」など

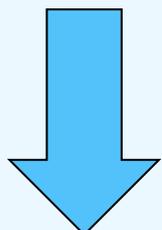


OA時代における情報の評価基準

高い



信頼性



低い

有料(電子含む)

学術書・学術雑誌・事典

新聞

一般書籍・雑誌

大衆雑誌

無料

公的DB・
機関
リポジトリ

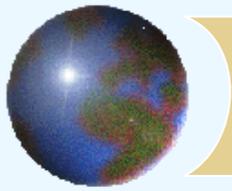
(NEW)
オープンアクセス
学術雑誌・DB

企業リリース情報

フリーペーパー

フリー百科事典

個人のブログ等



今回の資料作成にあたっての基本ポリシー

3. 図書館の専門用語を使わない。

- ・在学学生ガイダンスと異なり「聴く義務」なし。

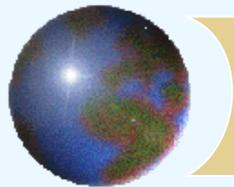
→「書架」や「請求記号」が、興味を失わせていなかったか？

→ルール説明に終始する「べからず集」ではなかったか？

→学生にとって「聴くメリット」は示せていたか？

→Youtube初挑戦にあたっての試行錯誤

「イントロ飛ばし世代」VS「君の将来のためを思って…」



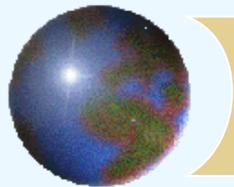
新たな専門性とは（今回の経験から）

（1）取り扱う資料とデータベースの知識

→「購入した資料か／OA資源か」の区別なく、
信頼性のある情報は網羅的にカバーする。

（2）支援対象別の知識・ニーズ把握力

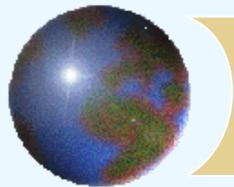
→新入生・学部生・研究者・社会人院生などに分けて
「資料・ツールの知識」「Web依存度」を分析し、
内容の構成に活かす。



新たな専門性とは（今回の経験から）

- (3) 教育カリキュラム・卒業後のキャリアと連動したコンテンツ構成力
- (4) 学習者・研究者視点のストーリーテリング力
- (5) アウトプット（レポート・論文・口頭発表）のための情報活用提案力

→独学者として生涯学べる力を育成するには、
図書館職員も探究し続けることが必要。



これからの学術情報リテラシー教育の課題

(1) 教員を、本質的な教育・研究に専念させる役割

→剽窃・コピー指導からの解放

(2) 担当者の基礎的アカデミックスキル育成

→大学院生の活用・採用、職員の進学支援

(3) 評価指標（貸出冊数・来館者・施設設備）の見直し

→「学生の成長度」（アンケートによる）などを追加。

【参考情報】（論文） 梅澤貴典「大学図書館職員の教育研究支援能力
--米国大学図書館協会の基準に学ぶ、職員と成果の評価による改善策」
『大学図書館』103 巻11号（2009年）